

第29号
(9月号)
2015年
9月1日

七里ヶ丘子ども若者支援研究所 それが社会参加だ！

住所:鎌倉市七里ヶ浜 2-31-12
携帯:090-7212-4055
Email:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp
編集長:新舛秀浩
発行責任者:滝田衛

「役に立たないということ」

涌井貴暁さん (会員)

子供の頃からそうなのですが、私はただの役立たずだと自分を卑下する毎日だった。長い間そのような考えで苦しんできた。最近荘子の本を読み思ったのですが、私は、今の澁んだ時代にとって役立たずなのではないかと思うようになった。今の時代や人間というフィルターを通して自分は役立たずなのだ。人生という大きな観点からすると、その役立たずとは、とても小さく重要ではないのではないかと思うようになりました。いったい自分は何と比べて役に立たないと思っているのか？ 荘子の本にはこの様にも書いている。役に立つ木は、実がなるとむしり取られ、もぎ取られるために大枝は折られ、小枝は引きちぎられる。役に立つことで却って自分の身を苦しめる羽目になる。進んで世俗に打ちのめされている。大木になるためには無用であることが有用であると。自ら進んで世俗の価値に打ちのめされるのは、いい加減にしたらどうかというのである。たしかにその通りだ。私は海上自衛隊に5年間勤務した。あの組織の中で役立たずでいることは地獄を見る。そのため一生懸命仕事にまい進した。その結果身も心もボロボロになってしまった。その後も世の中の役に立つ社会人を目指して一生懸命に仕事をしたが結局同じ羽目になってしまった。私は世間的な価値観に見切りをつけ、堂々と無為に人生を遊びたいと思う。



川辺悟史さん撮影久里浜駅前夏の雲

コラム風 戦後70年が過ぎた。僕も8月15日終戦記念日に64回目の誕生日を迎えた。未だに“戦後”を銘記するこの国に覚悟がないと思う。アジアの人々に謝罪し“戦後の先”を生きられていないこの国を憂いている。特に戦後生まれの政治家や企業家の「美しい国」「大東亜」「道徳」「自虐」を叫ぶ見苦しい言動に、自尊心の欠落を感じる。彼らの「日露戦争」「大東亜戦争」への無知、“俺たち大日本帝国は悪くない、悪いのはお前たち欧米だ。謝罪は嫌”との歴史認識にア然とする。机上の勉強に追われ人の痛みを感じない受験戦争世代の脆弱さを感じる、自戒。僕の義父母は被爆者、父母も戦火をぐりぬけた。学生時代の僕は広島原爆爆心地復元作業に3年間従事し、「その朝、子どもにミカンの缶詰を食べさせてあげたかった(被爆者)」「戦争を批判し投獄された(詩人)」等の痛苦的体験談は僕の生きる糧としてきた。「戦後70年ではなく“建国70年”へ」(社会学者小熊英二氏)に賛同する。日本人300万人超、アジア1千万人超の戦死者を亡霊とせず、平和を約束する日本の建国が、50～70歳の潔い生き方だろう。さて、新学期を迎える。不登校を放置し約30年、自死へも追い込む教育関係者の謝罪も不可欠。一方教員は国家に追いこまれボロボロだ。TV(左写真)でぶっちゃけた(大笑?)。



こども若者応援団8月23日「TBSのカメラが入り交流と9月23日の講演会の議論！」



TBSのカメラが入った涼しい23日定例会が行われました。滝田さんは教職員の給与の下落と激務を嘆き。川辺悟史さんは大学のサークルの新入生歓迎に尽力。新舛はネットの友達と交流を深め。安川さんは自分で見て判断するという視点の重要性を。高比良秀一さんは新曲を作るが、演奏に苦戦。高比良和枝さんは9月27日のLIVEへ向け息子秀一さんならではの味を出してほしいと。高島さんは目まぐるしい1年を振り返り。川辺順子さんは子育てに介入を止め自分自身の道を楽しむと。蘇武さんは薬に頼らず健康のためのメニュー作り。と近況報告を終え、第1章9月23日の講演会について意見交換しました。また2章は11月、3章は1月、終章3月と5月番外編へと予定しております。また高比良秀一さんのLIVEを9月27日に行います。是非皆様の参加をお待ちしております！（新舛）

9月23日(水・祝)「不登校の解決へ 第1章 子どもが主役 学校・先生そして大人が変わる」 ※詳細別紙参照

それぞれの風

- 「随分悩んだのですが(某市非常勤職員)断ってしまいました。ただし挫折するのではなく、めげずに次を探したいと思います。しばらく落ち込むとは思いますが…。閉じこもらないようにします。また連絡致します。」(Aさんよりのメール)
- Aさんは30代へ足を踏み入れる。来年の転居へ向け「仕事をしてみよう！」と電話、応募、面接をへて合格。その後仕事場へうちあわせに行き、その仕事に「ムリだ！」と実感。「(職場の)良い人たちに迷惑をかけられない」と早々に辞職を電話で伝えた。手続き書類を提出し仕事場に謝辞を伝え、上記のメールをもらった。Aさんの自己肯定感の所在、仕事への敏感な感性を実感した。超誠実なAさん。
- 「(今後の)アドバイスを受けたら？」の母の問いに「いい、やだ」と息子M男。翌日黙って出かけ、帰ってからアルバイトの面接に行くと、契約書を見せ少し話してくれました。催事の設営や片付け等請け負う事務所のように。翌々日深夜から朝まで横浜スタジアムで作業、10時半頃に帰ってきてシャワー、洗濯して寝ています。…まるで「水戸黄門の印ろ(滝田の訪問予告)」のように効き目があって、空利用で申し訳ないような気持ちです。(母よりお手紙 お気遣いなく…)

【ご参加下さい】
講演会は「産業交流プラザ第2研修室」13時30～16時～応援団会議。
高比良LIVEはタリーズ横須賀中央店2階 18時半～

9月研究所開設日程 相談時間10時～16時 土日訪問はご相談

3日(木)	他事業	21日(月祝)	おやすみ
7日(月)	他事業	23日(水)	講演会 応援団会議
10日(木)	相談	24日(木)	相談
14日(月)	相談	27日(日)	高比良秀一さんLIVE
17日(木)	相談	28日(月)	相談